

# かしわ



No. 5



平成27年5月25日 3階からの景色です。

## 学校の安全について考える

校長 北村 耕一

5月に2つの訓練を行いました。1つ目は、5月8日(金)の「不審者訓練」です。私は一日出張で参加することができませんでした。訓練の様子については、増田教頭と担当した相川教諭にレポートをお願いしました。その記事をお読みください。

私の心の中で「不審者訓練」というと、まず思い出すのは、大阪池田小学校の事件です。あの事件は、学校の安全について考えるうえで多くの示唆を与えた事件だと思います。

本校でも、校門を閉めておくこと、来校者に声をかけること、子どもを一人だけにしないこと等を日頃から行っています。

2つ目は、5月12日(火)の「学校・教育委員会合同防災訓練」です。震度6強の地震が起き、大津波警報が発令されたとの想定で訓練は行われました。

本校は海拔58Mの場所にあります。津波の被害は免れる可能性は高いのですが、東日本大震災後に思ったことは、土砂崩れやトンネルが崩壊して道路が遮断されて「孤立」することです。

そうしたことを教職員が想定したうえで、避難訓練も行い、さらに子どもの発達に応じた「防災教育」を行っています。昨日の避難訓練時に私は、「1 自分のことは自分で守る。2 学校は安全な場所。3 『生きる』ことが大切」という話をしました。

2については、先日来校して下さった横須賀市民安全部危機管理課課長の小貫 和昭氏の説明が根拠となっています。

1と3については、前任校の神明中学校の防災教育から学ばせてもらいました。

神明中学校の防災教育の講師として来られていた活断層踏査 探求“チーム21”代表の湯本信治氏はよく「釜石の奇跡」の話をされ、「津波でんでんこ」という言葉を教えてくださいました。

また、管理職の研修会で、群馬大学大学院教授・片田敏孝氏のお話を聴く機会があり、「避難3原則」を話されていました。「避難3原則」とは、①「想定にとらわれるな」②「ベストを尽くせ、最善を尽くせ」③「率先避難者になれ」というものです。

本校は聴覚に障がいのある幼児・児童・生徒が通う学校です。前述したように4歳～18歳までの子どもの発達に応じた学校での防災教育を各学部で行い、さらに実際に家庭で災害にあった時のことを考えて、災害時に困るであろうことを想定して、教えることも必要だと考えています。(例えば、テレビや放送が聞こえない時にどうするか、夜間に停電になると手話や筆談で話せない、避難所での連絡や情報が伝わらない等)

特に「3『生きる』ことが大切」ということを訓練だけでなく「自立活動」の時間や全ての教育活動を通して学ばせていきたいと思えます。



写真は幼稚部の避難の様子です。

### 3 健康で安全な学校生活の充実

- ① 犯・防災に対する意識を育て、犯罪や災害に対応する力を高める。
- ② 他の命と心を大切に、人権を守る意識を育てる。
- ③ 身の調和的発達に配慮し、自らの健康を自ら築く姿勢を育てる。

# 不審者訓練を行って

担当 相川 博彦

教頭 増田 功

5月8日（金）4校時に不審者が侵入したという想定で、訓練が行われました。今回は玄関から3階まで上り、理科室で授業中の先生の教室に入っていくということでした。授業中の生徒は先生の支持通り、何かあったときのヘルプカードを職員室に持っていき、迅速に対応できており、不審者役で来られたスクールサポーター(SS)の方がとても誉めてくれました。みんな真剣な表情で状況を見守り、静かにして不審者の気持ちを荒立てないような振る舞いも身に付いたようです。

SSの方のお話から、“学校は先生が守ってくれるから大丈夫！1人でいるときや、外出中に災害に遭遇した時に、とっさに行動できるためにも訓練を重ねることが大切です”というお話をいただきました。みんなはしっかりとした姿勢で聞き、SSの方からもとてもいい態度でしたとお誉めの言葉をいただきました。

短い時間でしたがしっかりと取り組むことができました。



不審者訓練で SS の方からお話を聞きました。



5月8日（金）に不審者対応訓練を行いました。これまでは教職員が不審者役をしていました。今回は、警察官の方に依頼し大変緊張した訓練になりました。子どもたちはしっかりと避難することができ、日ごろの訓練成果を発揮できていました。1時間程の不審者対応訓練でしたが、様々な課題を顕在化できました。最大の課題は警察へ通報するまでの時間が、6分程かかってしまったことです。子ども達の安全確保を最優先事項とし、誤報を恐れず1秒でも早く警察への110番通報をすることが最重要であることを確認できました。6月末には「防災教育研修会」を行います。ビデオ記録した不審者対応訓練の様子を全職員で確認するだけでなく、「原子力災害対策」についても横須賀市の危機管理課の方から学ぶ予定です。「想定外」をなくすため、今後も警察等の外部機関と連携して訓練や研修会を行っていきます。様々な状況への確に対応することができ、子どもたちの命を確実に守ることができる職員体制を確立していきたいと思えます。



## 小学部の保護者の皆様へお願い

小学部では、今年度も昨年度に引き続き、保護者の皆様に協力していただき、「本の読み聞かせ」を行うことを計画しています。

詳細につきましては、小学部よりご連絡いたしますので、是非、ご協力をお願いいたします

横須賀市立ろう学校 〒238-0023 横須賀市森崎5-13-1

TEL 046-834-1172 FAX 046-834-0096

Eメール [admini@rou-sd.yknet.ed.jp](mailto:admini@rou-sd.yknet.ed.jp)

学校HPも更新しています。ご覧ください。